２０１８年（平成３０年）７月３１日火曜日

デーリー東北　１５面　掲載

「東北悲願の優勝旗を」

光星ナイン、甲子園へ出発

青森県代表として第100回全国高校野球選手権記念大会（8月5日開幕・甲子園）に出場する八学光星硬式野球部の部員ら約40人が30日、八戸市を出発した。同日中に宿舎のある大阪府吹田市に到着し、31日から練習を始める。（金濱千優希）

出発式で、大会への意気込みを述べる、仲井宗基監督（中央）と八学光星ナイン＝30日、ＪＲ八戸駅前

この日出発したのは、ベンチ入りメンバー18人のほか、投手と捕手を中心とした練習補助の部員、マネジャー5人ら。

ＪＲ八戸駅前で行われた出発式では、仲井宗基監督が「練習の成果を最大限発揮する」、長南佳洋主将が「東北悲願の優勝旗を取って来られるよう頑張りたい」とそれぞれ抱負を述べた。

見送りのため出席した小野崎龍一校長は「君たちの決意が私たちの願いでもある。心を一つに戦い抜いてほしい」と激励した。

甲子園大会で、今夏初めてのベンチ入りを果たした投手の成田太一は「県大会期間中も調子を整えてきた。選手に選ばれたことに感謝し、甲子園で勝ちたい」と気合十分だった。

大阪桐蔭2年連続切符

56代表校出そろう

デーリー東北新聞社提供